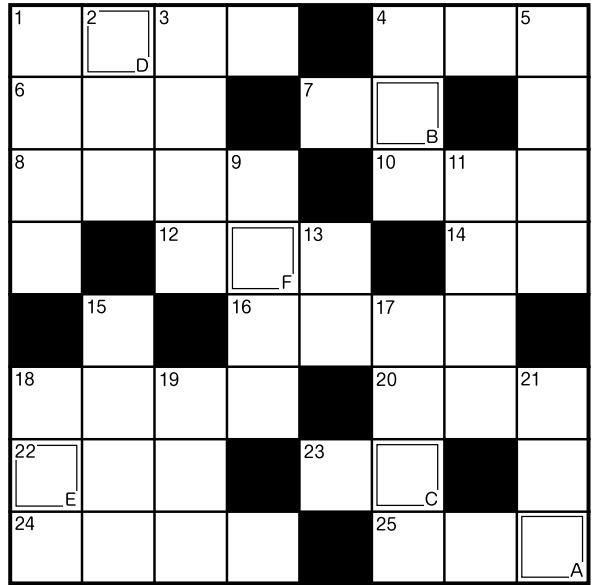


ヨコのヒント

- メジャーリーグで大活躍の“二刀流”○○○翔平選手。ペーブ・ルース以来、104年ぶりに「2桁勝利・2桁本塁打」を達成しました。
- 江戸時代の卸売業者。この下に仲買・小売があり、「○○○→仲買→小売」という商品流通の仕組みが整えられました。
- 現在の日本の国会は衆議院と参議院の二院制ですが、戦前の大日本帝国憲法に基づく帝国議会は衆議院と○○○院の二院制でした。
- 欧米を中心に広がっている「○○痘」。天然痘のワクチンが有効とされます。
- 足利尊氏の反乱によって失敗に終わった建武の新政。1336年に朝廷は分裂し、○○○朝時代が始まりました。
- 来年4月、子育て支援、児童虐待防止、少子化対策などを担当する「○○○家庭庁」が発足します。
- ラムサール条約にも登録されている北海道の○○○湿原。野生の動植物の宝庫です。
- 「後悔○○に立たず」「転ばぬ○○の杖」。○○に共通して入ることは？
- すばらしい勢いで進歩・発展すること。
- 自分から進んで人前に出たがらない性格。「○○○○思案」といいます。
- 小型のコウモリやキツネなどのように、夜になると活発に活動する動物を○○○性動物といいます。
- せっかく苦労してやったのに、結局は何の役にも立たないこと。
- に耳あり、障子に目あり。誰かがどこかで聞いたり、見たりしているかもしれません。
- 同じ耕地で、年ごとに異なる作物を順番を決めて栽培すること。
- 物事の大本もと。「日本語の○○○を探る」などと使います。



【答え】

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F |
| | | | | | |

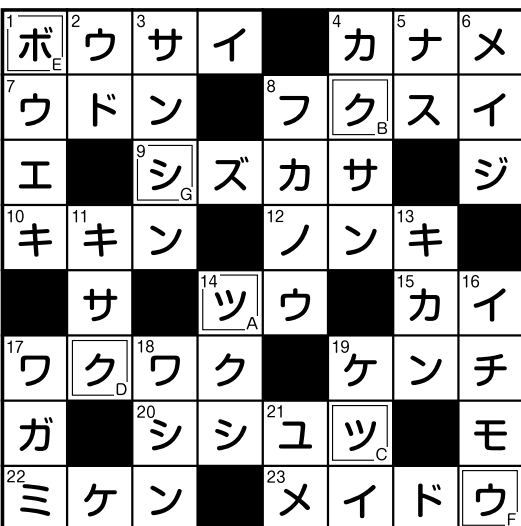
- 21 19 18 17 15 13 11 9 5 4 3 2 1
- 味です。
- 今年が○○○○がアメリカ軍の統治下から日本に復帰して50周年です。
- 地球の上空20〜25キロメートルにある○○○層。生物に有害な紫外線をさえぎるはたらきを持ちます。
- 石川○○○は明治時代の歌人。代表作に『一握の砂』『悲しき玩具』があります。
- アジアとヨーロッパにまたがり、黒海や地中海などに面する国。首都はアンカラ。
- どうなることかと心配して、いらぬ様子。
- 夏目漱石の『吾輩は猫である』の猫の飼い主。名前を「珍野○○○○」といいます。
- 本来は「北海道産の馬」のことですが、北海道生まれの人のことをこう呼んだりします。
- 何の役にも立たない人。「○○でなご」となります。
- 話し合いや論文などの最後に、その結果としてまとめられた意見。
- 土砂や雪などを掘ったりすくったりする道具。
- 「嘆き○○○○寝る夜の明くる間はいかに久しきものとかは知る」(右大将道綱母)
- 春、偏西風によって中国大陸から運ばれてくる黄色い細かい砂。雨たれ石を○○○○。「たとえ力が弱くとも、根気よく努力を続ければ、必ず成功する」という意味です。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G |
| ツ | ク | ツ | ク | ボ | ウ | シ |



★ツクツクボウシ

夏の終わりから秋の初めにかけてよく鳴くツクツクボウシ。セミは、種類によって見た目も鳴き声も生態もいろいろで、ツクツクボウシは、鳴き声そのまま名前になっています。ミンミンゼミもツクツクボウシと同様、名前は「ミンミン、ミンミンミンミン…」という鳴き声に由来します。一方、クマゼミは体長が60〜70mmと日本のセミのなかでは大きく、色も黒いことからクマにたとえられ、ヒグラシはその多くが日暮れごろに鳴くことから、その名前が付いています。ちなみに、クマゼミは「ジャジャジャジャ…」と、ヒグラシは「カナカナカナカナ…」と鳴きます。アブラゼミの名前は、褐色の羽が油紙を連想させることから付いたという説と、「ジー、ジジジジジ…」という鳴き声が、油で何かを揚げているような音に似ていることに由来するという説とがあります。

鳴くのはオスです。繁殖する、つまり子孫を残すため、メスに自分の存在を知らせようと、大きな声で鳴きます。もっとも、口から声を出しているわけではありません。スズムシやコオロギのように、羽をこすり合わせて音を出しているわけでもありません。オスの腹部に発音膜という、鳴き声を出すための器官があり、その膜を、発音筋という筋肉で震わせて音を出し、共鳴室という空間で音を大きくしているのです。一方、オス・メスともに、後ろ足の付け根のあたりに腹弁と呼ばれる器官があり、そのなかにある鼓膜が震えることで音を感じます。

たまご→幼虫→成虫と変化する、さなぎの時期がない、不完全変態のセミ。長い期間、地中で幼虫期を過ごすことで知られますが、アブラゼミの3〜4年、クマゼミの4〜5年に対して、ツクツクボウシは1〜2年で地上に出て成虫になります。成虫になってからの寿命はどのセミも1か月程度。その間に繁殖相手を見つけるために、一生懸命鳴いているのです。

ヨコ

- 防災 (ぼうさい)
- 要 (かなめ)
- うどん
- 覆水 (ふくすい)
- 閑さ (しずかさ)
- ききん
- のんき
- 痛 (つう)
- 甲斐 (かい)
- わくわく
- 検地 (けんち)
- 支出 (ししゅつ)
- みけん
- 鳴動 (めいどう)

タテ

- 防疫 (ぼうえき)
- ウド
- 三番 (さんしん)
- 拡散 (かくさん)
- ナス
- 明治 (めいじ)
- 不可能 (ふかのう)
- 気さく (きさく)
- 気管 (きかん)
- つくし
- 一網 (いちもう)
- わが身 (わがみ)
- 和親 (わしん)
- 決意 (けつい)
- 夢 (ゆめ)